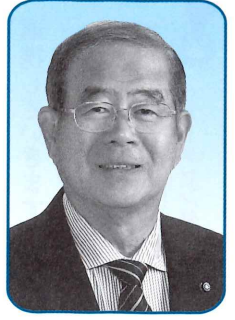


一般質問

Q&A



さいとう よしあき
斉藤 義明 議員
自民党市政会



質問の様子は
こちら！

ナフサの供給不足について

Q ナフサ由来の資材の在庫と今後の納入について伺う。

A ごみ袋の在庫については、5月末時点では、サイズによりますが、2か月から4か月分を確保しています。また、今年度も製造業者と契約したところであり、契約では7月末から9回に分けて毎月納入される予定となっております。現時点においては、ごみ袋の納入に問題はないものと考えています。

(市民生活部長)

A ナフサを原料とした医療資材は、現在、約1か月から1か月半程度を院内に備蓄している状況です。

また、製造各社の出荷制限については、現時点で、約2か月先まで、昨年度と同程度の数量は確保できる見通しとされていますので、計約3か月程度は、手術も含め、通常の診療が可能な状況ですが、それより先は不透明であるのが現状です。

今後影響が長期に及べば大きな影響が出ると予測されますので、状況を注視し、対応していきます。

(病院事業管理者)

ふるさと納税について

Q 目標額達成の手段を問う。

A 「返礼品の強化」「広報PR」「リピーター対策」「クラウドファンディング」の4つの柱を推進していきます。「返礼品の強化」については、寄附者のニーズやトレンドを的確に捉えた返礼品開発を進めていきます。今年度からは「コト消費」として市内宿泊施設で利用できるクーポン型返礼品を拡充し、体験型返礼品との相乗効果により交流人口の拡大につなげていきます。

「広報PR」については、各ポータルサイトを活用し、掲載品数を充実させるとともに、返礼品や地元事業者の想い・ストーリーに焦点を当てた特集記事を発信するなど、本市の魅力を効果的に発信していきます。

「リピーター対策」については、寄附金の活用報告書の送付や、お礼状の見直しなど、寄附後も継続して本市を応援していただけるファンづくりを進めていきます。

「クラウドファンディング」については、本市の課題解決に向けたプロジェクトへの共感の輪を広げ、事業件数の増加に努めていきます。

(市長)



とりかい ゆい
鳥飼 由衣 議員
政志会



質問の様子は
こちら！

都市公園について

Q 田尾坂公園において第2駐車場から公園へ向かう利用者の多くが、近接する横断歩道を利用せず、車道を横断している状況が見受けられる。歩行者・運転手に対する注意喚起の看板等の設置など安全対策を講じるべきと考えるが、いかがか。

A 田尾坂公園の駐車場は、東側の第1駐車場に12台、公園南側の第2駐車場には14台が駐車可能な施設として整備しています。

第2駐車場の利用者が公園へ向かう際に、横断歩道のない箇所を渡る方が見受けられるため、利用者の増加による駐車場不足と、安全対策を考慮する上で、本年4月に、信号機や横断歩道がある公園北側に第3駐車場として、8台が駐車できるような増設したところです。

公園付近は交通量が多く、自動車で来園する方は子供を連れて訪れるため、注意喚起が必要であると認識しており、今後、看板等の設置による、さらなる安全対策を行っていきます。

(市長)

健康推進事業さかいでチャレンジ55について

Q さかいでチャレンジ55参加促進の取組はできないか。特に特別賞・記念品は抽選あるいは先着順だが、参加者全員に配布するなど充実を図ってはいかがか。

A さかいでチャレンジ55は健康ポイント事業であるマイチャレかがわと同時に実施している取組です。さかいでチャレンジ55の参加者数は、令和6年度まで横ばいとなっていました。令和7年度は増加に転じました。

今年度の新たな取組として、企業が従業員の健康管理に取り組むことで企業の活性化や業績を向上させる「健康経営」の促進の一環として、産業観光課が市内企業に対しマイチャレかがわへの参加促進を行う予定となっております。その際、さかいでチャレンジ55を周知し、マイチャレかがわと併せて参加者数の増加を図っていきます。

参加者への記念品は、健康づくりを継続するための動機づけとして、一定の効果があると認識しています。今後、参加者の満足度向上と事業効果が図られるよう見直しに取り組んでいきます。

(健康福祉部長)